

事務事業 No./名 称	■サービス部門 消防-08 救急活動事業									
主管課	警防救急課					関連課				
分野名	地域安全									
目標 (目標値)	救急救命士の養成(48人)、救命講習の開催(年3000人受講)。 公共施設にAED設置(53台)。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	12,516	12,923	20,932						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	12,516	12,923	20,932						
	人員配置数	1.0	1.0	1.0						
	人件費(千円)	8,138	8,836	9,184						
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	20,654	21,759	30,116						
	市民1人当 りの経費(円)	117	123	170						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	鎌倉市	横浜市	横須賀市	藤沢市	茅ヶ崎市	秦野市			
	人口	174,161	3,693,788	410,260	417,070	236,420	169,724			
	出場件数	9,687	170,288	22,781	21,156	10,249	7,245			
	救急隊数	8	62	13	12	6	5			
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
救命講習	◎	目標値	3000人	3000人	3000人	3000人	3000人			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	4447人	4021人	4236人	4156人				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
救急活動事業	10,392千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	救急救命士の養成。公共施設にAEDの継続設置。市民に対し救命講習を実施													
救急活動事業 (政策)	2,124千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	公共施設にAEDの継続設置等。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24 年度の課題	(1)高度化する救急医療体制への対応(2)救命率向上のため市民と連携した救命体制の確立(3)増加傾向にある救急需要への対応。		
課題解決のための取組	(1)高度化する救急医療体制に対応するため救急救命士を養成した。(2)市内の公共施設53カ所にAED継続配置。救命講習の実施により応急手当の普及促進(3)救急イベント、救命講習時、ポスターの掲出、ホームページ、広報誌を活用し救急車の適正利用を訴えた。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	救急件数の増加に対する対応。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		これまで実施してきた事業をさらに推進し、特に救急車の適正利用に関しては、あらゆる機会を捉えて訴えていく。	課長等名 警防救急課長 芥 川 忠
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
救急活動事業	主な個別事業	224 メディカルコントロール指示等委託料	2,588	2,442	○	○	○	○
		224 自動体外式除細動器(AED)賃借料	401	401	○	○	○	○
		224 神奈川県消防学校負担金	707	707	○	○	○	○
		224 メディカルコントロール協議会負担金	801	801	○	○	○	○
		224 救急救命士養成負担金	460	460	○	○	○	○
救急活動事業 (政策)	主な個別事業	288 自動体外式除細動器(AED)賃借料	2,124	2,124	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							